

日本政府は核兵器禁止条約に調印し、批准することを求めます



岡山県原水協通信

2017年 7月20日 No.412

原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町 4-25
TEL086-244-4526(F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

猛暑の中 岡山から早島へ



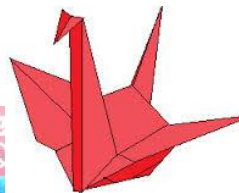
梅雨明け宣言が発表された20日、平和行進は岡山市から都窪郡早島町に向けて元気に出発しました。

岡山市役所南の大供公園で行われたこの日の出発集会には岡山市大森市長が「6月29日の岡山空襲を記念し、平和の日と定め、平和の輪が世界中に広がるよう願っている」とメッセージを寄せました。県労三上議長は「核兵器禁止条約の採択は世界の転換期だ。核兵器廃絶をめざし奮闘しよう」と挨拶されました。

岡山市被爆者会平末会長も「平均年齢82歳だが核兵器がなくなるまで頑張る」と行進者を激励されました。

園児たちが出迎え

7月18日岡山協立保育園の園児たちと高橋院長はじめ病院職員が行進団を出迎え、激励してくれました。



60人が参加して児島網の目行進



児島の網の目行進は、7月17日に行われました。午前10時に倉敷市児島支所に集合して出発集会を行い、1時間半をかけて市内を一巡するコースで行われました。参加した60人は「核兵器をなくそう」のシュプレヒコールをしながら元気に行進しました。



岡山市表町商店街では今年も色とりどりの折鶴で作られた七夕飾りが行進者を和ませました。岡山空襲を記念し、犠牲者の鎮魂と商店街の繁栄、平和を願って1998年から飾られています。

折鶴飾りの下を平和行進

岡山空襲を記念する平和七夕まつり